川口町公民館報
公民館報
第74号
発行人 古田島 正
編集人 公子 真
印刷所 山口常印刷所

スポーツ少年団結成
——各地区館ごとに八団体誕生——

年度はじめより計画を進めていたスポーツ少年団が、ここのほど各地区館ごとにそろって誕生し、去る八月二十二日の町民体育祭に認定証の授与式をおこなった。

各スポーツ少年団が実施する種目は地区の実情にあわせ自由とし指導者もその地域の中からえらぶようにしている。約四百名のこの団員がスポーツをおとして自分の力をためし、次代をになうりっぱな人間になることを学びとることになるが関係者をはじめ地域の人たちからも進んで協力をしてもらいたいものである。

当局はこれらのスポーツ少年団を正式に登録し、日本スポーツ団に加入し、条件を整備しながら活動を進めていく方針である。

誕生したスポーツ少年団

名称	種目	団員数 男	団員数 女	合計	指導者名
東部柔道少年団	柔道 バトミントン	43	54	98	山田 武
西川口スポーツ少年団	バトミントン バレーボール ソフトボール	15 4 11	18 35	33 39 11	山田英樹 他3名
田変山スポーツ少年団					
和南原スポーツ少年団	野球 柔道			20	
中山スポーツ少年団	陸上	45		45	星野豊雪
木沢スポーツ少年団	卓球 剣道 球球 拳球	22	26	48	星野仁愛 他3名
牛ケ島スポーツ少年団		13		13	
相川野球少年団	野球	15		15	鈴木庄栄

スポーツ少年団綱領

わたくしたちは、健康なからだと、心を養い、次代を担うりっぱな人間になります。
わたくしたちは、ルールを守り、他人にめいわくをかけず、進んで奉仕し、りっぱな社会人になります。
わたくしたちは、スポーツによって、限りなく伸びる自分の力をつくり出すために努力します。
わたくしたちは、スポーツの中で、友愛と協力と敬びを学び、わたくしたちの国と国民を愛します。
わたくしたちは、世界の友と力をあわせりっぱな世界をつくります。

鈴木松次氏逝去さる

町議会議員社会文教委員長鈴木松次氏には、本年五月末から病気療養中のところ、去る九月十二日午後三時四十六分桑沼病院で死去された。六十才。

鈴木松次氏は昭和三十年四月議会議員に当選、更に昭和三十八年四月再選されてその勝れた識見と果断な実行力は非凡な政治手腕とあいまって広く町政運営に尽された。

また、農業委員としても長年組合長として献身的な努力をされ、部落にあっては総代として大きな役割をなし、その真に身について来た感じである。

しっかな努力と非凡な才能と振われ数々の業績をのこされました。資性温厚で思慮深く、格は多くのひとびとに敬慕され、将来を嘱目されていたがここに卒然として逝かれたことを惜しむものであります。

つつしんでご冥福をお祈り申し上げます。

秋季消防演習 挙行される

昭和四十年度川口町消防団の秋季演習が去る八月三十一日、古田島団長のもとに、県消防協会北熊谷支会長、小千谷警察署長等多数の来賓をむかえて、第一部は川口中学校庭で、第二部は野川右岸でそれぞれ盛大に行なわれました。まず第一部は、点検者である町長の服装点検に始まり、中学生のブラスバンドの吹奏による分列行進等に行なわれ、最後に消防業務の功労者と永年勤続者に表彰状が贈られました。第二部は、ラッパの合図により各分団から出動したポンプが一斉に放水試験を行ない、消防力の強大さを発揮し、住民に心強い印象の与えました。

消防団はその施設と人員を活用して、住民を災害から保護することを任務とするものであります。民生安定のためにお互いが今後とも一層消防力の充実に深い関心をよせたいものであります。

議会だより

昭和四十年第二回川口町議会臨時会が、六月二十八日招集された。この議時会に付議された事件は、条例の制定及び一部改正、予算等の二十六件であった。

1	川口町町税条例の一部改正
2	川口町国民健康保険条例の一部改正
3	川口町防災会議条例の制定
4	川口町災害対策本部条例の制定
5	新潟県消防団員等公災組合の共同処理する事務及び規約の変更
6	昭和40年度川口町一般会計補正予算
7	昭和40年度川口町特別会計国民健康保険補正予算専決処分報告
8	昭和40年度川口町特別会計東部簡易水道事業補正予算専決処分報告
9	昭和40年度川口町特別会計住宅団地造成事業補正予算専決処分報告
10	委員会報告
11	請願

補正予算三五一万円 原案可決

昭和四十年度一般会計補正、住宅団地造成事業会計の予算は、原案どおり可決され特別会計補正予算は、いずれも可決された。今回の補正予算の主なものは次の通りである。

内容は、三会計ともに、昭和三十九年度予算において、不足が予想に不足したために、法の定めるところによって、昭和四十年度の予入を繰上げて、財源に充てる、繰上充用の措置をとったことにより、補正したものである。

- 各学校の教材備品費 八九万一千円
- 町道維持災害復旧費 五三万円
- 農作物減産防止対策費 三三万五千円
- 火葬場用自動車購入費 七五万円

で、総額三五一万六千円である、総予算は一億一四九五万五千円となった。

特別会計補正予算 専決処分を承認

町長が五月三十一日専決処分した国保会計、東部水道会計改正で、更に、消防団員及び消防要員が、業務のために、災害を受けて、死亡又は不具廃失となった場合、功績及び不具廃失の状況によって、最高百万円の賞じゅつ金が支給されることになった。

消防団員に賞じゅつ金が支給される

現在新潟県消防団員等公災組合が、消防団員等が消防業務中にこうむった損害の補償は燃料費補償、休業補償、傷害補償等である。このほどの条例改正で、更に、消防団員災害対策基本法に基き、地域防災計画の作成と、その実施の推進を図るために、防災会議を開催し、また、災害が発生したときに速やかに、災害対策本部条例が制定され、町の災害対策に万全が期された。

このほか、可視条例及び国保条例の一部改正が、関係法令の改正により、必要が改正されたので、所要の改正がされたが、原案どおり可決された。

請願六件を採択

常任委員会に付記された請願の委員会報告があり、小和北熊田桑園遊成事業助成請願ほか五件の請願は、願意妥当と認め採択し町長に送付した。他の請願は、二件は不採択に、十件は閉会中の、継続審査とすべきものと決定した。

（用語の説明）

請願……必要のあるとき議会に告示された特定の事件に限りこれを審議するために招集される会議のことである。

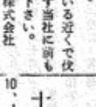
（後記）

○町民の皆様から、町政に対する不断の関心を高めると同時に、町議会の活動状況を知っていただくために、今月号から「議会だより」欄を設けました。紙面の都合もありますが、できるだけくわしく案件や審議の内容等を、掲載いたしたいと考えております。

学問のすすめより
上達する心

上手な道に思いどころがあり、下手な者にもよいところがあるものである。それを見ぬく人がなく、本人もまた気づかないである。上手な者は名声をたのみ、慢者なことに満足してしまって、悪いところに気づかない。下手な者はもとより上手が足りないので、悪いところが多くつかないでいるから、また上手にいろいろ時々あることは知らないでいる。だから上手な者も下手な者も、たがいに他人の意見をきくことがあっても、よいとくだらないと人でもよいところがある。上手な者はそれを学ぶべきである。それが自分を向上させる第一の手段である。

月のこよみ



- 10・1 法の日、共同募金
- 10・4 管理主事学校訪問
- 10・6 成人病二次検診（西川口地区）
- 10・7 民生委員部せん会議
- 10・8 子育て学校巡回（各地区）
- 10・9 郡中学校駅伝大会
- 10・12 結婚届
- 10・27 郡中学校駅伝大会
- 01・20 知事選挙告示
- 10・22 選挙人会議（予定）

ヘビを捕獲した川口町の人たちに感謝の手紙

昨年十月から二回にわたって川口診所へ応援にきた、新潟医大脳神経外科教室の早野俊也先生は、ヘビの研究家で、川口町の皆さんからシマヘビを採集してもらって研究していたが、このほど研究の写真を添えて、ヘビを捕獲した人達に対して感謝の手紙をよこした。

——△——

シマヘビは日本では極く普通にみられる動物ですが、そなものがいたことが化石の研究から証明されております。

ヘビはトカゲ、カメ、ワニなどと共に爬虫類に属します。

昨年十月から二回にわたって川口診所へ応援にきた、つまり宮駐することがありません。そして同様類と紙なりの、子供がエラで呼吸することもありません。体表は全なうろこで被われています。

爬虫類は現在の地球においては数も少なく巨大なものも少ないが、地質時代の中生代にはほとんど全世界がこの類で満ちており、恐竜など巨大な化石の研究から証明されております。

あらゆる動物の中でヘビほど人に嫌われる動物はありません。従って人類との交渉はなどと共に爬虫類に属します。少なく、わずかに強壮剤として食用される程度です。しかし、異なり、はじめから成体を問わず、じからだつきで生活します。

新潟県には新潟県に生息するヘビはマムシの外はすべて無毒で、もなし害もせず、むしろ野ネズミを捕えたり有害な昆虫などを捕食するのです。

「いまさらヘビなどを研究せずとも」と言われるかも知れませんが、単純な下等な動物からの進化を系統的に比較することは近代の医学を含むもいつかは人間の病気の解明に応用されると信じております。

私たちのところでは、ヘビに関しては脳、眼、舌、心臓、筋、肝臓、腎臓、神経、消化管などほとんどあらゆる器官、主に電子顕微鏡を用いて研究しております。

そして続々と新しいことや、興味深いことが発見されております。ひとつだけ例をあげれば、ヘビの脳には脳液を分泌する脳膜がまだ分化していません。ところが私たちが電子顕微鏡を用いて研究しているうちにシマヘビの脳の後取上皮には特殊なトロドリアと言われるものが発見されました。その写真を一枚同封しておきますから人間のと比較してみて下さい。

例えばこんなふうにして川口町で採集していただいたヘビは研究に役立っております。医学の研究と実験動物とは切りはなすことができません。

ですから私たちは川口町の皆様に感謝しております。

今後もよろしく医学の研究に御理解を御示し下さい。

シマヘビの子供

シマヘビの内臓(特)

おいしい味に舌づつみ
給食の試食会

（写真は試食会風景）

さる九月九日完成した川口小学校の給食室を祝って、町内外の来賓、町当局、議会関係、PTA関係者、役場職員等一〇五名が試食会を行った。この日の献立はパン、ミルク、カレーシチュー、マーガリン、梨といったもので、翌十日から子供たちに対し給食を実施している。

参加者は教育長を始め役場職員、土建業者、一般住民等約七十人が参加して、血液検査等、医師の精密検査を受けてから、二〇〇cc づつ採血した。

この血液は目盛で保存されて輸血が必要とされるときに使用されることになるが、現在の保存血液は人数分が大都会の限られた人々による貧血であるので、いろいろの弊害（忘ろしい血清肝炎等）がおきて困ったなれ、この献血運動が始まったわけであって、献血はこの点輸血で良質であるので、多くの人々の会を数う大切なものとして喜ばれている。

夏休みについて

二学期に入り一ヶ月、ようやく夏休みの気分がとれ勉強に身についてきた感じである。

さてあちこち長い夏休みの過ごかたについていろいろの話題があるようだが、ここで実際に夏休みをどんなふうに考えて過ごしたか、一中学生の作文を紹介しよう。

——△——▽——

私は、今のみまで夏休みとはいえ、よく遊び、よく学べということをモットーにして過ごしてきたが、やり老い、ふ、とんなんかがいっこう何もしないうちに、二学期が始まってしまう。小学校のころは私自身驚くほど遊んだ。夏休みの終りの日はいつも宿題が山ほどたまって汗みずたらして、やったものだ。

だが、中学になってからは学習内容もむずかしくなり小学校のころほどに楽しした気分にはげうしてあり、ってクラブなどで学校に来る日が多くなったことも事実だ二年のときは夏休みに楽しい臨海教育がある。団体生活に慣れさせるように海辺の学校で、同じ学校の仲間と共に海の幸を食べ楽しく過ごした。三年の夏休みは、まず補習だ、宿題を持つ手がヌルヌルしてくる。

私は、今年の夏休みをどうしてきたかふりかえってみると、普通の授業があるお日でも私達の学校の教育目標の一つに「進んで学習し実力を高めよう」とある。自分自身が、やる気があってこそ実力がつくのだと思う。もう一つ目標に「健康でゆたかな心を育てよう」とある。人間は心身ともに健康でなければならない。夏休み中に、大いに活動して、心身の健康をそだて、大いに勉強して実力を高めることは、よういではないけれども、できることだと思う。何事にも休みをどんなふうに考えて過ごしたかが、ここで実力の差が出るすんで、マラソンに切り目をつけるのだった。

かえた男子三千米のスタート参加選手十五名、ラック十五周の会員完走。東部の山吉朝喜が力強い走法で二位を大きくはなしてゴールイン、最下位とはいえ和南原の関照栄君レースを捨てず声援にこたえてゴール、若人の意地と根性立て賞料を得るために行なわれるものである。

この調査の準備期間として、九月二十四日から三十日までの間に各地区の調査員が各世帯に「調査票」をくばり記入を依頼しますから、ありのまま申告下さるようお願い申し上げます。

調査事項は次の十六項目であり、記入すべき調査票は十月一日から三日までの間に調査員が集めに参りますからお渡し願います。1氏名、2世帯主との続き柄、3男女の別、4出生の年月日、5配偶の関係、6国籍、7仕事をしたかどうかの国籍、8従業上の地位、9勤め先、業主などの名称、10勤め先、業主の住所の種類、11本人の仕事の種類、12従業地又は通学地、13世帯の種類、14住宅の種類、15居住家数、16居住室の畳数の合計

◎記入が複雑なので大都分は調査員が記入されると思われますので事前によく自分で調査され調査員が行って来時間ある人は、なるべくお手伝いをされるようお願いします。

◎記入の協力を願います。調査された個人的なことがらは、統計以外の目的に使ったり、法律で固く禁じられておりますので、この趣旨を御理解いただき安心して調査に御協力くださるようお願い申し上げます。

愛の献血に七十人が参加

日本赤十字社新潟県支部は病める人々のため、よい血を供給するために「愛の献血」を行っているが、川口町へも去る八月九日移動採血車「ゆうあい号」を配車して、川口中学校前で献血を行った。

盛大だった体育祭
——東部に栄冠 東沢は三位に躍進——

まい年実施してきた町民体育祭をこのほど八月二十二日川口中学校において開催した。九時三十分川口小学校鼓笛隊の行進曲をあげ、つづいて前年度優勝の東部地区館を先頭に堂々の入場行進がくりひろげられた。この日は、あらたに結成されたスポーツ少年団（別掲）の認定証の授与式も同時に行なわれ、体育祭をいっそうもり上げた。

午前十時十五分競技開始、男子百米をかわ切りに炎天のもと各地区館の熱戦が展開された。午前の部半に町体育指導員をリーダーとする婦人会員による民踊、高大会に優勝した川口中、木沢中学校体操部の模範演技が会場の拍手を浴びる。

午後一時台風十七号接近の情報を気にしながら中学一年生の千五百米がスタート、つづいて地区対抗八百米で会場わきたつ。生の子供たちの熱戦が展開、各選手も協力し選行は計画どおり終えたが、種目が終えたびに得点板に人が集中する。中でも地区館長さんの姿は印象的だった。自由参加の種目ですんで、マラソンに切り参加選手十五名完走。東部の山吉朝喜が力強い走法で二位を大きくはなしてゴールイン、最下位とはいえ和南原の関照栄君レースを捨てず声援にこたえてゴール、若人の意地と根性立て賞料を得るために行なわれるものである。

最後はいよいよ地区対抗リレーである。各地区とも一人の選手をおくり優勝をねらう。小学生から五〇才台に至るまでしっかりとバトンをにぎりしめて走る。会場に声援がとぶうちゴール前で東部が一中台下さまえて優勝、前年度の栄に輝いた。

成績次の通り

一位	東部地区館	一九六点	
二位	西川口地区館	一五九点	
三位	木沢地区館	一一五点	
四位	中山地区館	一一四点	
五位	泉本地区館	一一三点	
六位	田変地区館	九七点	
七位	和南原地区館	五二点	

以上のとおりであるが、木沢地区がよく健闘し三位に入賞したことは山地区が一点の差で惜敗、14位の獲得、15居住家数、16居住室の畳数の合計で大都分は調査員が記入されると思われますので事前によく自分で調査され調査員が行って来時間ある人は、なるべくお手伝いをされるようお願いします。

地区館活動に期待

地区館運営研究会開催

さる九日四日西川口地区館を会場にしてはじめての地区館運営研究会を開催した。

公民館活動をよりよく進めるために、特に地区館活動を盛り上げようと今回の研究会を計画したもの。

講師には中越教育事務所より青柳社会教育主事をむかえ、公民館活動の今日のあり方について講演をいただき、なお田変山、木沢、西川口の三地区館長が実践発表を行ない研究討議をかさねた。

これらの研究会は毎年継続してひらく予定で各種団体関係者をはじめ、地区館の審議委員の百名の出席を当局は望んでいる。

感電事故防止についてお願い

農業取布中、散布器が高圧線にふれて感電事故をおこしているような状態が報道されている。このほど東北電力川口出張所よりつぎのことに注意するよう連絡があった。

記

（1）電柱には絶対に昇らないこと。

（2）切れた電線には絶対にふれないこと。

（3）電灯線、動力線といえどもふれてはいけない。

なおその近くで作業する場合は十分注意すること。

（4）樹木や汗の通った衣類又は雑足のまま電柱の支線等にふれないこと。

（5）電線の通っている近くで伐採している時は必ず当社に前もって連絡して下さい。

東北電力株式会社
長岡営業所
川口出張所